



世界へ発信！



2つのユネスコ遺産

■問合せ 世界ジオパーク・縄文世界遺産推進室
(☎ 82-3663)

世界ジオパーク・縄文世界遺産推進室 誕生！

洞爺湖町には、2つのユネスコ遺産があります。1つは、「洞爺湖有珠山ジオパーク」です。2009年に洞爺湖町と伊達市・壮瞥町・豊浦町の1市3町全域が、日本初の「世界ジオパーク」に認定されました。

巨大なカルデラ噴火によってできた洞爺湖や活火山である有珠山のほか、地域で取り組む減災教育などが国際的に高く評価されています。

そして、もう1つのユネスコ遺産が、2021年に世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」です。この世界遺産に洞爺湖町から「入江貝塚」と「高砂貝塚」の2つが選ばれました。

入江貝塚と高砂貝塚は、今から約5千年から3千年前に作られた、縄文時代の貝塚です。



洞爺湖有珠山ジオパーク



入江貝塚

当時の人々が暮らしたムラの跡や、何を食べていたか、どのような文化だったのかがわかる品々がたくさん見つかったり、貴重な遺跡です。

この2つのユネスコ遺産を共に守り、後世に伝える活動を進めていくため、令和5年10月、観光振興課内に「世界ジオパーク・縄文世界遺産推進室」が誕生しました。

洞爺湖が誕生した約11万年前から縄文時代を経て現代へと続く、洞爺湖町の大地の記憶が刻まれた2つの遺産は、町の大きな魅力です。保全・保護と同時に、教育活動に活用しながら観光振興へとつながるよう、活動していきます。

縄文世界遺産デジタルスタンプラリー開催中！

世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」では、デジタルスタンプラリーを開催中です。

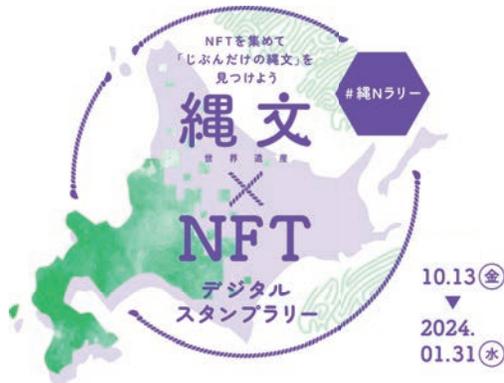
北海道にある7か所の遺跡で、それぞれ異なったデザインのデジタルスタンプが獲得できます。

洞爺湖町では「入江貝塚公園」や「入江・高砂貝塚館」でGETできますので、ぜひ遺跡を訪れてみてください！

■期間

10月13日～2024年1月31日

デジタル
スタンプラリー
特設サイト



10.13(金)
▼
2024.
01.31(水)